

事務事業評価表（補助金等）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	校長会負担金（小学校・中学校）		事務事業コード	101202
2 担当部課	部等	教育部	課等	教育総務課
	担当者	土屋 文子		
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政策	生涯学習の推進	施策 学校教育の充実
		事務事業	校長会負担金（小学校・中学校）	
		予算科目	学校管理運営事業	業務委託 なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助 なし
	根拠法令等	なし		

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容		
① 性質	負担金	② 期間	年度 ~ 年度
補助金の種別		③ 対象	その他
④ 制度の内容	諏訪小中学校長会が実施する事業に対し、学校数割や児童生徒数に単価を乗じて算出した額を負担する。		
⑤ 積算方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校長会負担金 単価×学校数 ・ 部活動関係 単価×学校数+単価×生徒数 ・ 学校栄養士関係 単価×給食人数+単価×栄養職員数 ・ 特別支援教育関係 単価×学校数 		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	児童生徒の健全な育成と教職員の資質向上が図られ、諏訪地域の教育充実に寄与する。		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	1,205,000	1,152,000	1,158,000	1,135,000
財源				
一般財源	1,205,000	1,152,000	1,158,000	1,135,000
内訳				
特定財源	0	0	0	
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	1,196,350	1,146,560	1,144,212	
予算執行率	99.3%	99.5%	98.8%	
支出額の前年度比		95.8%	99.8%	

③ 29年度の交付先
諏訪小中学校長会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5 4	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5 9	
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1			
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		*有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		高い	
評価項目		はい	いいえ				
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1					
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1					
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1					
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1					
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1		

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること) 諏訪6市町村共通の負担金のため、単独での見直しが困難である。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 6市町村内の負担金見直しに関する考えや様子を伺い、統一見解を持って、支出先の諏訪小中学校長会とヒアリングを行う。
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------